

岡山市、三原市で自家発研修会が開催される

9月12日、岡山市の「岡山県消防設備協会」が主催して、『消防用設備等実務研修会』が岡山市内で開催されました。この研修会は、同協会の会員の事業者や県内の消防行政機関の職員を対象としたもので、約130名が受講しました。

研修会では、「非常用自家発電設備の基礎知識、点検及び保守」というテーマで、主に、平成30年6月1日付で施行された法令点検改正に関する詳細な説明のほか、自家発電設備の分類、関係法令による規制、自家発電設備の構成機器・構造・点検・保守の概要について、約70分間講義が行われました。



自家発電設備認証制度を解説する内発協の越石担当



岡山市での研修会の会場

一方、9月24日、広島県三原市の「三原市消防本部」が主催し、「三原市防火安全協会」との共催で、『消防用設備等点検要領研修会』が三原市内で開催されました。この研修会は、同協会の会員及び三原市消防署の職員を対象としたもので、約60名が受講しました。

研修会では、「自家発電設備の基礎及び点検方法の改正等について」というテーマで、自家発電設備の関係法令による規制及び構成機器・構造等の技術的な基礎知識について、自家発電設備の点検における注意点、不具合事例等、また平成30年6月1日付の法令点検改正等について、約3時間講義が行われました。



ガスタービン発電装置の構造を解説する越石担当



三原市での研修会の会場

両研修会においては内発協の技術部職員が講師を務め、独自に作成したパワーポイントを用いて、自家発電設備の法令、構造及び実際の運用等について実務に即した講義を行いました。講義終了後、熱心な質疑応答が行われ、盛況なうちに閉会しました。

今後とも、内発協では、防災用自家発電設備に関する総務省消防庁の登録認定機関として、また自家発電設備の専門技術者を養成する機関として、消防関係機関等からの要望を受けた場合、自家発電設備に関する研修会等に対し講師派遣を積極的に対応していくこととしています。